

# 福島県における雑草イネ総合防除技術

福島県農業総合センター 作物園芸部 稲作科

部門名 水稲—水稲—雑草防除

担当者 渡邊洋一、笹川正樹、渡邊和弘

## I 新技術の解説

### 1 要旨

近年、福島県内において、雑草イネの発生地域が拡大している。雑草イネのまん延は、赤米混入による品質低下だけではなく、栽培イネの減収も懸念されている。

そこで、雑草イネの総合的な防除技術を開発し、生産現場で容易に取り組めるよう本技術を解説したマニュアルを作成した。

- (1) 本防除技術は、移植時期、代かき、雑草イネに有効な除草剤散布等を組み合わせた防除体系を設計し、マニュアルを作成した（図1）。
- (2) 移植時期は、できる限り遅植えとする。代かきは、荒代と植代を2回行う。植代は、浅水で、丁寧に3工程で行うことにより、発生した雑草イネを、ほ場にすき込むことができる（図2）。
- (3) 除草剤散布は、雑草イネに有効な除草剤による3剤体系とする。1剤目の散布は、植代から期間を空けずに行い、2剤目と3剤目の散布は、前回散布の7～10日後に行うことで、雑草イネを防除できる（図3）。
- (4) 本防除技術の詳細は「福島県における雑草イネ総合防除マニュアル」として取りまとめ、福島県農業総合センターHPで公開している。

### 2 期待される効果

- (1) 雑草イネの発生が問題となっている地域において、高品質な米の安定生産に寄与できる。

### 3 適用範囲

- (1) 雑草イネが発生している福島県内の水稲生産者

### 4 普及上の留意点

- (1) 本技術は水稲移植栽培においてのみ有効である。

## II 具体的データ等

時期	水稻	雑草イネ	防除体系	タイミング(目安)
4月 下				
5月 上	代かき	出芽始期	荒代 植代(丁寧な代かきを行う)	植代の7~10日前
5月 中		出芽盛期	初期剤の散布	移植1~3日前まで
5月 下		出芽終期	初中期一発剤の散布	移植直後
6月 上	移植		中期剤の散布	前回散布の7~10日後
6月 中				
6月 下				
8月 中		出穂期	雑草イネの抜き取り	残存本数が10本/10a以下で行う 出穂2週間後以内
8月 下				

図1 雑草イネの防除体系 (代かきから移植までの期間が3日以内の場合)

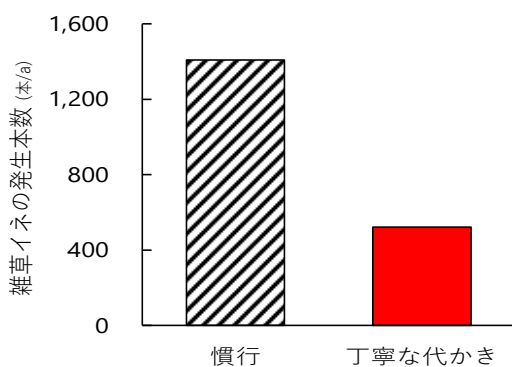


図2 丁寧な代かきによる防除効果(2021年)

注) 代かきの工程数 慣行:2工程、丁寧な代かき:3工程。

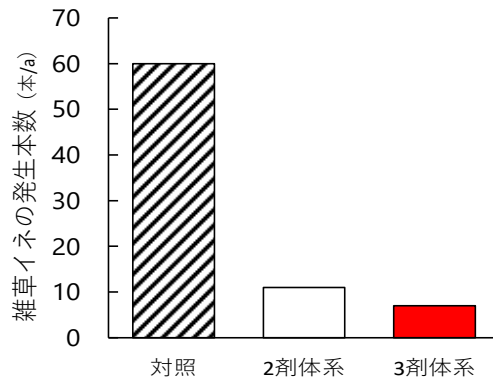


図3 有効除草剤による防除効果(2022年)

注) 対 照：雑草イネに効果のない除草剤を散布。

2剤体系：プレチラクロール乳剤(移植当日)  
+ビリスルファン・フェキサスルホン・フェキニトリオン粒剤(移植7日後)  
を散布。

3剤体系：プレチラクロール乳剤(移植当日)  
+ビリスルファン・フェキサスルホン・フェキニトリオン粒剤(移植7日後)  
+シロホップフル・シメリン・ペンフレート・MCBP粒剤(移植20日後)  
を散布。

## III その他

### 1 執筆者

渡邊洋一

### 2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成31~令和5年度

(2) 研究課題名 寒冷地における雑草イネ省力防除技術の開発  
(戦略的プロジェクト研究推進事業)

### 3 主な参考文献・資料

(1) 農研機構 「雑草イネ総合防除マニュアル「全国版」(仮称)」(2024年3月公開予定)